

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市東部勤労者福祉センター		
課名	商業労政課		
指定管理者名	公益財団法人静岡市まちづくり公社		
指定期間	令和3年4月1日～令和7年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和6年7月1日(月)		
評価委員 ※()内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 気田 敏弘(経済局次長) ②委員 福井 秀明(産業振興課長) ③〃 平尾 隆司(商業労政課長) ④〃 山田 佳央(静岡商工会議所地域人事課長) ⑤〃 大谷 裕紀(静岡県中小企業団体中央会事務局長)		
評価点 (各委員平均点)	91.0点	評価	A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>本指定管理期間については、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、過去に類を見ないような対応が求められたが、そうした状況下にあっても、施設の衛生管理や利用者の安全確保に努めながら、その時々々の感染状況に柔軟に対応した取組により、勤労者福祉に資する運営に努めていることが評価できる。</p> <p>期間内には、大規模な修繕の実施もあつたら、利用者への丁寧な事前説明と安全確保によって、スムーズな修繕が実施でき、修繕後の積極的な講座企画等により、利用の回復に努めている。</p> <p>また、令和5年度のコロナの5類移行後は、これまでの利用団体約600団体に改めて利用を働きかけたほか、地元の地区祭りへの参加により施設のPRを行い、利用の回復に尽力している。</p> <p>今後は、指定管理者のこれまでの経験とネットワークをさらに活用し、活動の幅を広げ、より高い利用者満足度を得られるような運営に努められたい。</p>		

総合評価結果総括表

施設の名 称 [静岡市東部勤労者福祉センター]
 指定管理者名 [公益財団法人静岡市まちづくり公社]

課名 [商業労政課]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(1) 施設及び設備の維持管理（保守・管理・点検・清掃等）が適切に実施されたか。	10	10	10	10	10	10
(2) 仕様書に示された事業が、予定どおり円滑に実施されたか。						
① パソコン講座	5	5	5	5	5	5
② 一般教養講座	5	5	5	5	5	5
③ フィットネス講座	5	5	5	5	5	5
④ プール講座	4	5	4	4	4	4.2
(3) 必要かつ適正な数の職員を配置するとともに、資格の取得等により、適切な管理運営を行ったか。	5	5	5	5	5	5
(4) 施設及び設備の利用許可に関する業務が適切に実施されたか。	5	5	5	5	5	5
(5) 対応マニュアルを作成のもと、危機管理対応・訓練が適切に実施されたか。	10	10	10	10	10	10
小 計	49	50	49	49	49	49.2
2 指定管理者の創意工夫	【配点15点】					
指定管理者が有するネットワーク・経験を活かした自主的な取組及び事業が実施されたか。	13	13	14	13	10	12.6
小 計	13	13	14	13	10	12.6
3 市民（利用者）のサービスの向上	【配点15点】					
(1) 利用者の満足度調査を実施し、要望・苦情に対する適切な対応を行っているか。	8	9	8	8	9	8.4
(2) 施設の利用状況を把握し、改善に向けた取組がなされているか。	5	5	5	5	5	5
小 計	13	14	13	13	14	13.4
4 施設固有の評価項目	【配点20点】					
(1) 他の機関等との連携が適切に行われているか。	8	8	6	7	7	7.2
(2) 勤労者福祉センターの設置目的に沿った事業が実施されているか。	9	9	8	8	9	8.6
小 計	17	17	14	15	16	15.8
合 計	92	94	90	90	89	91

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

<p>【A評価委員】</p> <p>管理者による自主点検も毎日実施されており、良好な施設管理が行われていた。コロナ禍、台風災害等で十分な稼働ができていなかった年度があるが、概ね目標は達成できている。地域の機関、団体等と連携して、幅広い自主事業、自主活動を実施できていた。一方事業数等のみの評価であるため、その成果についても評価項目として対応すべきではないか。全体として施設機能を発揮させるべく、適切な運営努力を図っていると考える。</p>
<p>【B評価委員】</p> <p>施設及び設備の維持管理において、仕様以上の業務がなされている。リピーターが多く存在する。多様な外部機関と連携し、事業に創意工夫が凝らされている。少なからず苦情や要望があり、改善の余地が残されている。上記により評価した。</p>
<p>【C評価委員】</p> <p>1 (2)ベビーとママの3B体操という自主講座であっても、勤労者が中心という位置づけで対応している。</p> <p>2 子ども海洋環境講座については、広く勤労者世帯を対象として講座を行っている。</p> <p>3 アンケートの回答率が年間5842人(延べ)に対して493人と約10%に満たない回収率なので、もっと多くの回答が得られるよう工夫してほしい。</p> <p>4 (1)もっと連携を強めてほしい。</p>
<p>【D評価委員】</p> <p>1 (2)コロナの厳しい状況の中で、可能な限り講座を実施されていてよいと思う。</p>
<p>【E評価委員】</p> <ul style="list-style-type: none">・履行状況においては、利用者のニーズをしっかりと傾聴した上で、仕様書に沿ってできる範囲で業務に取り組んでいることが確認できた。・設置目的に沿って概ね取り組まれている。
<p style="text-align: center;">評価委員会としての意見</p> <p>本指定管理期間については、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、過去に類を見ないような対応が求められたが、そうした状況下にあっても、施設の衛生管理や利用者の安全確保に努めながら、その時々々の感染状況に柔軟に対応した取組により、勤労者福祉に資する運営に努めていることが評価できる。</p>